科学技術イノベーション創出フェローシップ受給申請書

（元号）　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 所属部局・専攻名 |  |
| フリガナ |  |
| 氏名（性別） |  | （　　　） |
| 学籍番号 |  | 生年月日 | 　　　　　年　　月　　日　生 |
| 現住所・連絡先 | 〒 |
|  |  | TEL | 　　　（　　　） |
|  |  | e-mail | 　　　　＠ |
| 指導教員所属・氏名 | （所属）（氏名） |
| 奨学金等支援型助成受給の有無☑を付ける※記入日時点 | ●日本学生支援機構奨学金（JASSO）： □ 有 （ 　月まで受給予定） □ 無●留学生に対する奨学金 ： □ 有 （ 　月まで受給予定） □ 無●日本学術振興会特別研究員（DC）への応募・採択状況 ：□ 採 択 （ 　年　 月より採用予定） □ 補 欠□ 不採択　　　　　　　　　　　　　 □ 応募予定□ 応募中　　　　　　　　　　　　　 □ 該当なし●TF の雇用状況 ： □ 雇用中 （雇用期間 　月まで） □ 該当なし●TA の雇用状況 ： □ 雇用中 （雇用期間 　月まで） □ 該当なし●RA の雇用状況 ： □ 雇用中 （雇用期間 　月まで） □ 該当なし●アルバイトの雇用状況 ： □雇用中 （雇用期間 　月まで） □ 該当なし●その他に受給している奨学金等（複数件ある場合は，別紙に記入してください）機関名： 名称：受給期間 ： 受給金額 ：辞退届の提出： 提出済 ・ 未提出 |

◇本計画書は申請者本人が記載してください。

|  |
| --- |
| ※評価組織責任者確認欄（署名又は捺印） |

**２．【研究計画】**

※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(1) 研究の位置づけ**

取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**(2) 研究目的・内容等**

　① 取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

**３．【研究遂行力の自己分析】**

※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1)** **研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）*

*著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）*

*著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

**(2)** **今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

**【研究遂行力の自己分析　続き】**

※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。